

はじめに



～『子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川』の実現に向けて～

本市は、関西文化学術研究都市の中核都市として発展する一方で、古からの歴史を受け継ぎ、府内でも有数の国指定有形文化財を有するとともに、市の中央を東西に流れる母なる川「木津川」や里山など、豊かな歴史・自然環境に恵まれた魅力あふれるまちです。

近年、我が国では、本格的な少子高齢化、人口減少時代を迎えており、同時に、東日本大震災をはじめとする大規模な自然災害が多発しています。

本市におきましても、高齢化の進展や空き家の増加などの課題が顕在化しており、市民が共に支え合うまちづくりが求められています。こうした社会情勢やライフスタイルが日々変化している状況も踏まえつつ、長期的な視点から課題に対応していくため、平成31年度から10年間のまちづくりの指針となる「第2次総合計画」を策定しました。

本計画は、豊かな未来に向け、子どもの笑顔があふれ、子どもを大切にすることで、あらゆる世代の市民の皆様が、いきいきと暮らせる、木津川市に住んで良かった、住み続けたいと幸せを実感できるまちを目指すこととし、まちの将来像を「子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川」としました。

また、施策の選択と集中により、限られた財源を効率的に運用することを基本としており、施策ごとに成果指標を設定し、進行管理を行うことで、計画の実現性を確保することとしています。

本計画の実現に向けては、市民、事業者の皆様との協働・連携のもと、オール木津川市で取り組むことが重要ですので、引き続き、更なるご理解とご協力を願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、市民アンケート調査やワークショップなどにおきまして、貴重なご意見をいただきました多くの皆様をはじめ、それぞれのお立場から、活発なご議論をいただきました総合計画審議会及び各関係機関の皆様方に、心から感謝とお礼を申し上げます。

平成31年3月

京都府木津川市長 河井規子